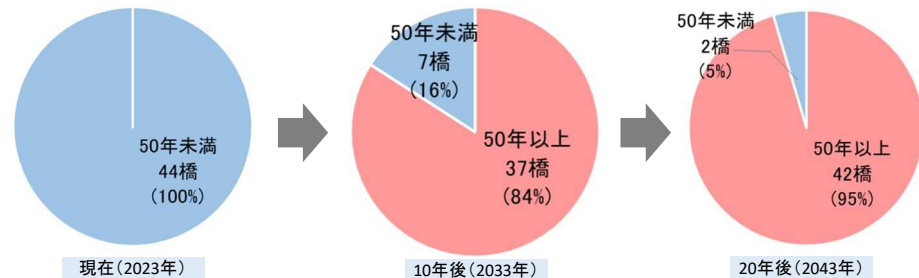




## 1. 背景と目的

本計画の対象施設は、ふじみ野市が管理する橋梁44橋とします。  
 建設年度からの経過年数より、20年後にはふじみ野市が管理する橋梁全体の約9割の橋梁が建設後50年を超えるものとなり、橋梁の老朽化は更に進んでいきます。  
 これらの橋梁に対して適切な補修を行わず、損傷が顕在化した場合、大規模修繕や架替を行うための莫大な費用が発生することや、交通に大きな影響が生じることが予想されます。

【ふじみ野市が管理する対象橋梁の建設後経過年数】※建設年度は一部想定含む



## 2. 計画期間

令和5年度(2023年度)～令和9年度(2027年度)【5年間】

『ふじみ野市橋梁長寿命化修繕計画』の計画期間は5年間とします。  
 なお、今後の点検結果や対策経過等により適宜見直し、PDCAサイクルに基づき進めていきます。

## 3. 対象施設の健全性

対象施設の現状を把握するため、令和4年度において、対象施設について近接目視による定期点検を実施しました。

点検の結果、腐食やひび割れ、剥離・鉄筋の露出など、老朽化が進行している橋梁が確認されました。一方で、緊急に措置が必要となる橋梁は確認されず、老朽化があまり進行しておらず健全性が保たれている橋梁も確認されました。

対象施設全体の健全度評価結果は以下のとおりです。

判定区分	施設の状態	施設数
I 健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態	19橋
II 予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態	24橋
III 早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態	1橋
IV 緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態	0橋



## 4. 長寿命化修繕計画における基本方針

これまでの損傷が深刻化してから修繕を行う“事後保全”による維持管理では、修繕費や周辺影響が多大となるとともに、橋梁の寿命を縮めることが懸念されます。

ふじみ野市としては、今後、定期的な点検を実施して損傷の早期発見を図り、損傷が深刻化する前に修繕を行う“予防保全”による維持管理を進めることを基本とし、施設の長寿命化によるライフサイクルコストの縮減、修繕費用の平準化により、将来にわたって安全・安心な通行空間を確保していくことを目指します。

また、橋梁の維持管理に係る新技術等の活用や、施設の必要性評価に基づく費用縮減方策についても検討していきます。

管理種別	修繕検討段階	必要修繕費	架替時期
事後保全	損傷が著しい状況となった時点で、大規模な修繕もしくは架け替えを検討	損傷が深刻化しているため、修繕には多大な費用を要する	施設の寿命が短くなるため、架け替えまでの期間は短い
予防保全	損傷が比較的軽微な時点で、予防的処置の観点より修繕を検討	小規模な修繕で済むことから、修繕費用は安価となる	施設の寿命が長くなるため、架け替えまでの期間は長くなる

## 5. 修繕の優先度に関する考え方

修繕の優先順位は、点検結果に基づく“施設の健全性”のほか、“施設の重要度”や“劣化予測”、“第三者への影響度”等を総合的に判断して設定します。

評価項目	評価指標
健全性	健全性Ⅲ以上の評価となる橋梁を最優先として修繕を計画します。
第三者被害	第三者被害を考慮し、溝橋以外の橋梁を優先的に評価します。
幅員(溝橋以外)	交通量が比較的多い広幅員橋梁を優先的に評価します。
幹線道路(溝橋)	交通量が比較的多い幹線道路に位置する溝橋を優先的に評価します。
道路の重要性	緊急輸送道路上やバス路線に位置づく橋梁を優先的に評価します。
土地利用	市街化区域内に位置する橋梁を優先的に評価します。

## 6. 長寿命化修繕計画による効果

### 1) 健全度の向上

定期的な点検を実施し、現状を把握しながら適切な修繕工事を計画的に実施することで、施設の健全性が維持され、安全・安心な通行空間が確保されます。

### 2) 環境負荷の低減

施設の長寿命化により、工事に伴う建設廃棄物やCO2の発生量が抑制され、地球環境への負荷低減に寄与します。

### 3) コストの縮減

予防保全による計画的な修繕計画により、効果的な維持管理が実現され、ライフサイクルコストの縮減が図られます。

### 4) 予算の平準化

修繕に係る費用を予測して、予算平準化を図った修繕計画を策定することで、計画的な修繕が可能となります。

## 7. 個別の構造物ごとの事項

※( )内数値は想定

No.	構造物の諸元								直近における点検結果			次回定期点検実施予定年度	対策計画			
	路線名称	橋梁名	架設年次(西暦) ※	経過年数 ※	幅員(m)	橋長(m)	構造形式	実施年度	健全性				対策内容	対策の着手予定年度	完了予定年度	
									健全性	主要部材	主要部材外					
1	市道E-201号線	7-50 (E-201) -1号橋	-	1985	37	5.20	17.00	PC	R4	II	II	I	R9	予防修繕	2027	2028
2	市道E-244号線	7-55 (E-224) -1号橋	-	(1985)	(37)	5.20	15.00	PC	R4	I	I	II	R9	監視	-	-
3	市道E-145号線	織部橋	オリバ <sup>ハ</sup> シ	1983	39	5.20	15.00	PC	R4	II	II	II	R9	予防修繕	2028	2029
4	市道D-156号線	弁天橋	ベ <sup>ン</sup> テンバ <sup>シ</sup>	(1981)	(41)	5.20	15.00	PC	R4	I	I	II	R9	監視	-	-
5	なんぼの道(緑道)	氷川橋	ヒカワバ <sup>シ</sup>	(1981)	(41)	5.20	15.00	PC	R4	I	I	II	R9	監視	-	-
6	認定外公共物	金山橋	カヤマバ <sup>シ</sup>	(1981)	(41)	5.20	15.00	PC	R4	I	I	II	R9	監視	-	-
7	市道D-122号線	旭橋	アサヒバ <sup>シ</sup>	(1981)	(41)	7.20	15.00	PC	R4	I	I	II	R9	監視	-	-
8	市道D-122号線	旭橋歩道橋	アサヒバ <sup>シ</sup> ホド <sup>ウ</sup> キョウ	(1996)	(26)	2.30	20.00	PC	R4	I	I	II	R9	監視	-	-
9	市道D-32号線	東和橋	トウワバ <sup>シ</sup>	1982	38	5.20	18.00	PC	R4	II	II	II	R9	予防修繕	2027	2028
10	市道D-27号線	栄橋	サカエバ <sup>シ</sup>	1978	44	7.00	18.00	PC	R4	III	III	III	R9	早期修繕	2023	2024
11	市道幹線1号線	福岡橋	フクオカバ <sup>シ</sup>	1991	31	12.80	49.00	PC	R4	II	II	II	R9	予防修繕	2024	2025
12	市道A-8号線	立堀橋	タテボ <sup>リ</sup> バ <sup>シ</sup>	1984	38	6.20	51.00	PC	R4	II	II	II	R9	予防修繕	2026	2027
13	市道B-80号線	谷田橋	ヤタバ <sup>シ</sup>	(1981)	(41)	10.10	6.00	RC	R4	II	II	I	R9	予防修繕	2024	2025
14	市道D-54号線	6-65 (D-54) -1号橋	-	(2007)	(15)	6.00	8.00	PC	R4	I	I	II	R9	監視	-	-
15	市道B-66号線	八幡橋	ヤマトハ <sup>シ</sup>	(1981)	(41)	5.40	6.00	BOX	R4	II	II	I	R9	予防修繕	2030	2031
16	市道C-12号線	新駒橋	シンコマハ <sup>シ</sup>	(1981)	(41)	8.00	5.00	BOX	R4	II	II	II	R9	予防修繕	2031	2032
17	市道幹線5号線	土橋	ド <sup>ハ</sup> シ	(1981)	(41)	14.10	5.00	BOX	R4	II	II	II	R9	予防修繕	2029	2030
18	市道B-167号線	湿気橋	シツカハ <sup>シ</sup>	(1981)	(41)	8.00	5.00	BOX	R4	II	II	II	R9	予防修繕	2031	2032
19	市道B-156号線	新田橋	シンデ <sup>ン</sup> ハ <sup>シ</sup>	(1981)	(41)	8.10	5.00	BOX	R4	I	I	II	R9	監視	-	-
20	市道幹線4号線	水天宮橋	スイテング <sup>ウ</sup> ハ <sup>シ</sup>	(1981)	(41)	10.00	6.00	BOX	R4	II	II	I	R9	予防修繕	2029	2030
21	市道C-38号線	彦兵衛橋	ヒコベ <sup>エ</sup> ハ <sup>シ</sup>	(1981)	(41)	8.10	5.00	BOX	R4	II	II	I	R9	予防修繕	2031	2032
22	市道C-148号線	平和橋	ヘイワハ <sup>シ</sup>	(1981)	(41)	19.20	4.00	BOX	R4	II	II	I	R9	予防修繕	2031	2032
23	市道B-63号線	新八幡橋	シンヤマトハ <sup>シ</sup>	(1981)	(41)	6.15	5.50	BOX	R4	II	II	II	R9	予防修繕	2031	2032
24	市道幹線6号線	富士見橋	フジミハ <sup>シ</sup>	(1981)	(41)	20.00	5.00	BOX	R4	II	II	II	R9	予防修繕	2029	2030
25	市道D-9号線	6-88 (D-9) -1号橋	-	(1981)	(41)	7.00	4.00	RC	R4	II	II	I	R9	予防修繕	2025	2026
26	市道C-199号線	石塚橋	イヅツカハ <sup>シ</sup>	(1981)	(41)	12.30	4.00	BOX	R4	I	I	I	R9	監視	-	-
27	市道D-8号線	6-83 (D-8) -1号橋	-	(1981)	(41)	4.40	3.90	BOX	R4	II	II	II	R9	予防修繕	2032	2033
28	市道D-15号線	6-94 (D-15) -1号橋	-	(1981)	(41)	4.30	3.70	BOX	R4	I	I	II	R9	監視	-	-
29	市道幹線5号線	関の橋	セキノハ <sup>シ</sup>	(1981)	(41)	8.00	3.50	BOX	R4	I	I	I	R9	監視	-	-
30	市道C-184号線	東橋	アズマハ <sup>シ</sup>	(1981)	(41)	4.40	3.00	BOX	R4	II	II	I	R9	予防修繕	2032	2033
31	市道D-9号線	6-88 (D-9) -2号橋	-	(1981)	(41)	6.40	3.70	RC	R4	I	I	II	R9	監視	-	-
32	市道C-114号線	江川橋	エガワハ <sup>シ</sup>	(1981)	(41)	20.00	4.00	BOX	R4	I	I	I	R9	監視	-	-
33	市道D-8号線	6-84 (D-8) -1号橋	-	(1981)	(41)	4.50	2.90	BOX	R4	I	I	I	R9	監視	-	-
34	市道幹線5号線	搦ヤ橋	トウヤハ <sup>シ</sup>	(1981)	(41)	6.10	2.00	RC	R4	II	II	I	R9	予防修繕	2026	2027
35	市道B-48号線	川通橋	カワトオリハ <sup>シ</sup>	(1981)	(41)	5.30	7.00	鋼	R4	II	II	II	R9	予防修繕	2026	2027
36	市道B-26号線	620 (B-26) -1号橋	-	(1981)	(41)	20.00	2.00	BOX	R4	I	I	I	R9	監視	-	-
37	市道C-14号線	新土橋	シンド <sup>ハ</sup> シ	(1981)	(41)	8.00	5.00	BOX	R4	II	II	I	R9	予防修繕	2033	2034
38	市道C-218号線	3-28 (C-218) -1号橋	-	(1981)	(41)	4.00	3.20	BOX	R4	I	I	I	R9	監視	-	-
39	市道D-14号線	6-105 (D-14) -1号橋	-	(1981)	(41)	4.20	2.40	BOX	R4	I	I	II	R9	監視	-	-
40	市道H-37号線	西沼橋	ニシヌマハ <sup>シ</sup>	(1981)	(41)	10.30	9.00	BOX	R4	I	I	I	R9	監視	-	-
41	市道C-150号線	丸山橋	マルヤマハ <sup>シ</sup>	(1981)	(41)	34.50	4.00	BOX	R4	I	I	I	R9	監視	-	-
42	市道D-27号線	6-79 (D-27) -1号橋	-	(1981)	(41)	7.00	2.30	BOX	R4	II	II	I	R9	予防修繕	2033	2034
43	市道D-38号線	6-73 (D-38) -1号橋	-	(1981)	(41)	20.00	8.00	BOX	R4	II	II	I	R9	予防修繕	2033	2034
44	市道E-171号線	7-212 (D-145) -1号橋	-	(1981)	(41)	11.00	8.20	BOX	R4	II	II	I	R9	予防修繕	2033	2034

※溝橋（ボックスカルバート）については、施設管理者である上下水道課と協議のうえ、修繕計画を検討する。